

まとめ

- ・TR人材育成の成功例ができた。
- ・作成したシラバス・カリキュラム等は普遍的な資産として全国で活用できる。
- ・臨床研究者・TR人材が絶対的に不足している状況は改善していない。3年前よりむしろ悪化している。
- ・日本では優れた基礎研究成果（シーズ）が社会に還元されていない。→我が国の利益にならない。
将来の医療費負担の増加。
- ・TR人材を育成することは医療分野におけるイノベーションそのものと言える。

提言

- ・この成功例をモデルとして、TR人材育成拠点を各地区に形成（5拠点程度）
- ・各拠点でのコンソーシアム形成とネットワーク化、国際連携による人材育成
- ・医師だけでなく関連する人材育成のシステム化
看護師、薬剤師、統計解析者など
- ・産業界との連携推進
- ・真の臨床研究・TR推進のための支援システム構築（混合診療の問題等）
- ・医師主導の臨床研究推進の支援システム構築

これらは医学・医療分野のみならず
日本の再生にとって緊急の課題である。

ご静聴ありがとうございました。